


## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：本省都市地域整備局街路課

担当課長名：松谷 春敏

<b>事業名</b> 阪神電鉄本線 <small>（住吉駅東方～芦屋市境）</small>	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 神戸市
<b>起終点</b> 起点：神戸市東灘区住吉宮町1丁目 終点：神戸市東灘区深江北町1丁目	<b>延長</b> 約4km	
<b>事業概要</b> 本事業は、住吉駅東側から芦屋市境までの約4kmを高架化することにより、11箇所の踏切を除去し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図り、生活環境の向上に大きく寄与するものである。		
H3年度事業化	S58年度都市計画決定	H3年度用地着手
		H9年度工事着手 <small>（住吉川以西）</small>
全体事業費	541億円	事業進捗率 19%
		供用済延長 0.6km
費用便益分析結果	B/C <small>（事業全体）</small> 1.3	総費用 <small>（事業全体）</small> 432億円 事業費：/432億円 維持管理費：/0億円
		総便益 <small>（事業全体）</small> 560億円 移動時間短縮便益：/462億円 走行経費減少便益：/86億円 踏切事故減少便益等：/12億円
基準年 平成17年		
<b>事業の効果等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・踏切の除去により、交通渋滞や、緊急活動の阻害、踏切事故の解消される。</li> <li>・高架下空間利用により、沿道のまちづくりを応援できる。</li> <li>・高架化により歩行者の行き来が自由になり、まちの一体化が図られる。</li> </ul>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 特になし		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 駅の高架化を視野に入れた、まちづくり協議会が深江地区及び青木地区に結成され、事業後のまちづくりが議論されるようになった。 阪神電鉄本線全体の連続立体化事業において、「西宮地区」が完成し、「鳴尾地区」が事業着手された。これにより、本事業の早期完成の期待が高まっている。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収率は82%に達している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 既に0.6km区間は完成形で供用している。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 平成18年度には仮線工事に着手し、工事期間の短縮を図りながら事業を完了させる予定であるため、事業を継続する。		
<b>事業概要図</b> 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。